



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.798 2026.9.16

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

非核三原則の堅持を求める陳情 継続審査に

日本共産党は採択を、自民新時代、維新は不採択を主張

15日の企画総務委員会
で、非核三原則の堅持並
びに北区の平和教育推進
を求める住民陳情（提出
は「やさしいまちをつく
る会きたく」）の審査が
行われました。

第1項目は、平和都市
宣言を掲げる北区とし
て、非核三原則の堅持を
求める意見書を日本政府
に提出することを再度求
めるもの。第2項目は、
北区の平和教育を推進す
るため、小中高生の広島・
長崎との交流事業を実施
することを求める内容。
私は、日本共産党区議
団として、ロシアによる
ウクライナ侵略や米国・
イスラエルによるイラン
攻撃など、世界で起きて
いる戦争の中で核兵器使
用の危険が増大している
ことや、高市首相が非核
三原則堅持に対しあやふ
やな態度を示しているこ

●企画総務委員会陳情審査結果 ※自民は委員長のため採決に加わらず

陳情項目	共産	公明	自民 新時代	維新	区民の ミカタ	結果
非核三原則堅持を 求める意見書提出	採択	継続	不採択	不採択	継続	継続
小中高生の広島・ 長崎との交流事業	採択	継続	継続	継続	継続	継続

とをあげ、第1項目は採
択を、広島・長崎の被爆
の実相を後世に語り継ぐ
重要性に鑑み、第2項目
も採択を主張しました。
採決では、他会派が不
採択、継続などを主張し、
2項目とも継続審査とな
りました。（のの山けん）



190メートル・50階ツインタワー 王子駅前地区都市計画案

オープンハウス型 説明会を開催

【日時】10月12日（月・祝）及び14日（水）両日とも11～18時

【場所】北とぴあ 地下1階 展示ホール

※詳しくは、9月20日付「北区ニュース」の案内をご覧ください。

区立特養ホーム桐ヶ丘やまぶき荘大規模改修工事において、東京新聞が「予定価格の過大見積もりがあったのでは」と報じた問題について、北区は7月28日に検証結果を発表（QRコード参照）。

この問題について15日に開かれた企画総務委員会で私が質疑した内容について、Q&A形式で紹介します。（のの山けん）



Q. これほど大規模な積算の誤りが生じたのはなぜ？

A. 北区は予定価格の積算内訳約1000項目のうち、約200項目に過大・過少の見積もりの誤りがあり、差し引き約2000万円が過大に積算されていたことを明らかにしました。

その大きな原因は、区が積算を委託した民間事業者からの納品が遅れた上に、積算内訳に未記入の部分が残されており、入札に間に合わせるため区の職員が空欄を埋めた際に、適正価格から大きく乖離した数字が書き込まれてしまったことでした。これらの誤った数字が、区が予定価格を決定する際の点検でも見落とされ、結果として過大な積算となってしまったのです。

こうした背景に、年々大型の建設案件が増え、契約不調も続いている中で、予定価格の決定など契約事務を担当する営繕課の業務が増大し、同課の職員に大きな負担やプレッシャーがかかっている現状があります。

委託事業者からの成果品納品の遅れ、200か所にも及ぶ記載もれがあったという事情があるにせよ、最終的に東京都の積算基準からも大きく乖離した数字が残され、約2000万円も過大に見積もった予定価格を決定してしまったことについては、区に厳しい責任が問われます。

Q. 他の入札案件でも積算の誤りが生じていないか？

A. 今回の事案で、区が行う予定価格積算事務に対し、疑念や不信が広がっています。

一方で区は、これまでの予定価格積算事務において、委託事業者からの納品が遅れたり、空欄が発生したりした例はなく、今回が極めて特殊なレアケースであることを明らかにしており、通常の入札案件で、過大・過少の見積もりが発生することはないとしています。

消火器ボックス 通常3万円が145万円



東京北区の区立特養ホーム桐ヶ丘の工事では、消火器ボックスの購入費が通常3万円から145万円に暴騰した。これは、区が積算を委託した民間事業者からの納品が遅れた上に、積算内訳に未記入の部分が残されており、入札に間に合わせるため区の職員が空欄を埋めた際に、適正価格から大きく乖離した数字が書き込まれてしまったことでした。これらの誤った数字が、区が予定価格を決定する際の点検でも見落とされ、結果として過大な積算となってしまったのです。

北区工事で過大見積もりか

【加藤裕博】
この工事は、同区立の特別養護老人ホームの工事。別荘地に入居する高齢者のための施設で、昨年12月に建設費が約1億4000万円と、区が積算を委託した民間事業者からの納品が遅れた上に、積算内訳に未記入の部分が残されており、入札に間に合わせるため区の職員が空欄を埋めた際に、適正価格から大きく乖離した数字が書き込まれてしまったことでした。これらの誤った数字が、区が予定価格を決定する際の点検でも見落とされ、結果として過大な積算となってしまったのです。

過大見積もり疑惑を報じる東京新聞（2026年6月26日付）

Q. 検証結果の詳細を区民に公表すべきでは？

A. 区がホームページで公開した検証結果では、過大に見積もった総額も、過大・過少それぞれの項目・金額の詳細も示されておらず、区民が検証内容を正確に確認することは困難です。

私は、検証結果について、より詳細な内容を公開し、区民に丁寧に説明することを要求。区も、「さらにわかりやすく説明していくことは必要」と答弁しました。

Q. 区が意図的に予定価格をつり上げているのでは？

A. やまぶき荘の大規模改修費が約40億円と高額となっていることから、「税金が不当に使われているのでは」、「不正がなかったのか、きちんと検証してほしい」などの声もあがっています。

これに対し区は、「積算は東京都の積算基準に基づき算出しており、区が意図的に予定価格をつり上げている事実はない」と答弁しました。